



新年明けましておめでとうございます。

謹んで新春のご祝詞を申し上げますとともに、皆さまのご多幸を心より祈念いたします。

地域の皆さまには、私どもリサイクル燃料貯蔵株式会社の事業にご理解を賜り、心から感謝申し上げます。

お陰様で弊社は、本年11月をもって創立十周年を迎えることになりました。これまで事業を進めることができましてのは、地元の皆さま方の温かいご支援とご協力の賜物であり、あらためて厚く御礼申し上げます。

さて、弊社は、昨年1月15日に「事業変更許可申請書」を原子力規制委員会に提出し、現在、原子力規制庁による詳細かつ厳格な審査を受けているところです。これまでに40回以上の審査が行われ、施設の基本的な安全機能をはじめとする規定項目への適合性を説明するとともに、その際にいただいた指摘・質問に対する回答を順次行っております。

引き続き、早期に適合性確認を終えるように全力で取り組んでまいり所存ではありますが、これまでの審査の状況を踏まえると、本年3月の事業開始は厳しいと認識しており、工程について、検討を始めているところでもあります。

弊社といたしましては、今後も安全・安心を第一義に、品質マネジメントシステムの構築により業務品質の向上や情報公開の徹底、新規制基準への審査対応を的確に行い、リサイクル燃料備蓄センターの更なる安全性向上に努め、地域の皆様の思いや信頼にお応えするよう、取り組んで参りたいと考えております。

本年もさらなるご支援とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



リサイクル燃料貯蔵株式会社

取締役社長

久保誠